

# 令和6年9月24日 記者会見 発言要旨

〔塚本会頭療養中につき、堀場副会頭(会頭職務代行者)が担当〕

先週末、元日の能登半島地震からの復興が道半ばの被災地を、再び豪雨が襲いました。お亡くなりになられた方、被災されました皆様にお悔やみと御見舞いを、また被災地の一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

## ■京都の経済状況について

今年7月から9月の経営経済動向調査の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。国内景気のBSI値は、プラス1.7とわずかながら上昇しました。前期が観光需要期であったことの反動はあるものの、好調なインバウンドや建設需要などが後押しとなり、6期連続の上昇となっています。先行きは、海外景気の先行き不安など不透明な要素はありますが、年末の需要期に向けて、業種・規模を問わず上昇が続くと見えています。一方、自社業況のBSI値は、プラス0.2とほぼ横ばいとなりました。業種別に見ますと、小売業、サービス業でマイナスとなり、猛暑による外出控えの呼びかけが影響したとの声も寄せられています。

全体としては、価格転嫁が一定進み、請負価格は上昇しているものの、中小企業を中心に、原材料・燃料価格の高騰や人件費上昇の影響が大きく、経常利益や資金繰りの悪化につながっている状況が伺えます。当面の経営上の課題を見ましても、半数以上の企業が回答した「原材料・燃料高」を筆頭に、「求人難」や「人件費負担の増大」が上位に入り、現在、企業が置かれている実態を如実に表していると思います。

来月には、京都でも最低賃金が過去最大幅となる50円引き上げられます。既に、人員確保のための「防衛的な賃上げ」を強いられている中小企業も少なくない中で、いかに自発的に、また持続可能な賃上げ環境を作り出すかが大きな課題です。賃上げが進むと、少ない労働時間で「年収の壁」に達することから、パートタイム労働者が労働時間を減らす可能性があり、人手不足の深刻化が懸念されます。政府はこの対策に時限措置を設けていますが、その効果は限定的との民間調査結果もあります。最低賃金のあり方を含め、「年収の壁」解消に向けた制度の見直しを、急ぎ検討いただきたいと思えます。

また、今回の付帯調査を通して、中小企業を中心に約3割の企業が資金繰りに不安や課題を抱えていることがわかりました。コロナ関連の融資の返済が済んでいない中小企業も多く、金利が上昇し始めている状況の中で、資金繰りに対しても早期の相談と丁寧な対応が求められています。もとより、円安や物価上昇によるコスト増、また人手不足などの課題に直面している中小企業の活性化に向けては、価格転嫁をはじめとする取引適正化を進めると同時に、生産性向上やイノベーションにより、物価と借入金利の上昇分を上回る「稼ぐ力」を中小企業自身が身につけなければなりません。引き続き京都商工会議所では、サプライチェーン全体で価格転嫁を進めていただくよう呼びかけるとともに、61名の経営支援員を中心に、中小企業の変革への取り組みを支援してまいります。

去る8月26日には、こうした中小企業の現状と支援の必要性について、松井市長就任後はいじめて懇談の場を持ち、市長・副市長と私を含む副会頭5名で意見交換を行い、その重要性の認識を深めていただけたと考えております。また、10月上旬には京都府・京都市への来年度の予算要望を予定しています。今申し上げた価格転嫁の推進やIT化・DXといった生産性向上への

支援、また資金繰りや事業継続、そして企業成長の源泉となる人財育成の支援などを盛り込んでおります。引き続き、京都商工会議所は事業者の身近な相談窓口として、支援機能を強化してまいります。

## ■大阪・関西万博

大阪・関西万博の開幕まで、明日で 200 日となります。大屋根リングが一周つながるなど、会場建設が相当進み、その姿が明らかになってきました。各国のパビリオンをはじめ、出展される内容が次々と発表され、徐々に期待が高まってきていると実感しています。

先週には、本所をはじめとする経済4団体で組織する万博京都支援協議会でセミナーを開催しましたが、関心の高まりだけでなく、万博を活かして新たな事業に挑戦する京都企業からお話をいただき、参加した企業の皆様から触発を受けたとの声をいただいています。

また、10月12日には、京都駅前広場とホテルグランヴィア京都において、イベント「京都イロドリ EXPO こといろ」が開催されます。これは、本所をはじめオール京都で構成する「大阪・関西万博きょうと推進委員会」による取り組みですが、当日は万博会場に設置予定の京都ブースの詳細発表に加え、きょうと推進委員会の山極壽一座長や、万博プロデューサーで、関西文化学術研究都市を拠点に長年ロボット研究に取り組んでおられる石黒浩先生らを招いたトークイベントなどを予定しており、企業だけでなく、京都市民にも関心が高まることを願っております。

先に申し上げましたが、万博京都支援協議会では、機運の醸成とともに、京都企業に入場チケット購入の呼びかけをしておりますが、皆様のおかげをもちまして既に約 11 万枚のお申し出をいただいております。明日 9 月 25 日からは、このチケットの購入特典として、パビリオン予約の抽選申し込みが開始されます。超早期割引チケットの販売はまもなく終了となりますので、皆様お早めにお求めいただければと存じます。